

## ご 注 意

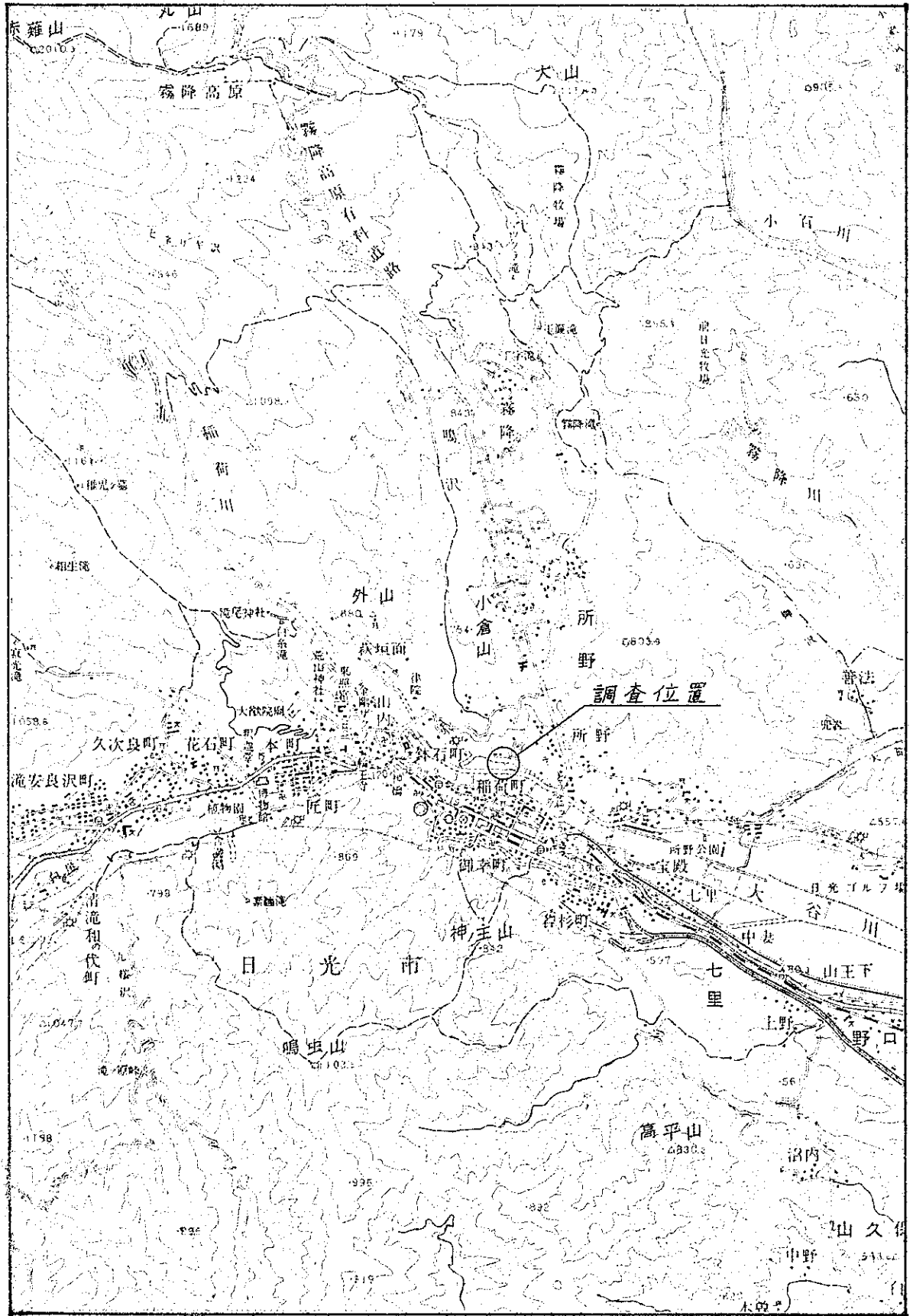
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

# 調査位置案内図



1:50,000



0  
1  
2  
3  
4  
5  
6

# 土 質 柱 状 図

調査名 地質調査業務委託(日光土木事務所庁舎建設)

標高 566.98 m

調査期間 昭和 57年 5月 30日 ~ 6月 5日

試錐No. /

水位 GL-8.55 m

調査員

標尺	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	土質名	色調	観察事項	相対稠度	相対密度	資料番号	標準貫入試験				土質試験試料								
											試験深度	N 値	10 cm 毎打撃回数	N 値	試料 No.	採取深度 m							
											10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50	回			
1						暗青	GL-0.0~1.70m 粘土混り砂礫			S-1	51	13	17	21									
2						暗青	GL-1.70~2.50m コンクリート塊が主体。			S-2	44	8	15	21									
3						暗青	GL-2.50~3.30m 粘土混り砂礫が主体。 腐植物および直径15mmの礫を混入する。凝灰質粘土が多い。			S-3	50/28	14	17	19/8									
4						暗褐	GL-3.30~4.60m コンクリート塊が主体。 下部は砂礫を混入。			S-4	50/9	50/9											
5	560.58	6.40	6.40		土		GL-4.60~5.80m 直径20~30cmの玉石を混入。 黒色の安山岩が多い。																
6	560.28	6.70	0.30		埋土	暗褐	GL-5.80~6.40m 粗砂を混入。粗度分布が広い。礫径最大90mm																
7							GL-6.70~7.20m 最大直径15cmの安山岩あり。			S-5	50/2	50/2	1/2	(0)バウンド									
8							GL-7.20~7.50m 砂分多い。																
9							GL-7.70~7.80m 砂分多い。																
10	556.94	10.04	3.34			灰	GL-7.80~8.10m 玉石、最大直径15cm GL-8.20~9.00m 砂礫が主体。			S-6	50/24	10	27	13/4									
11							GL-9.40~9.50m 細砂を混入。			S-7	50/4	50/4											
12																							

備考

KT2A

# 土 質 柱 状 図

調査名 地質調査業務委託(日光土木事務所庁舎建設)

標 高 564.02 m

調査期間 昭和57年5月25日 ~ 5月29日

試錐No. 2

水位 GL-700 m

調査員

標 尺	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	土 質 名	色 調	観 察 事 項	相 対 密 度	相 対 稠 度	資 料 番 号	標 準 貫 入 試 験			土 質 試 験 試 料		
											試 験 深 度	N 値	10cm毎打撃回数	試 料 No.	採 取 深 度 m	
1							GL-0.0~0.90m 暗褐色の砂礫が主体、粘土分を混入。 GL-0.90~1.35m コングリ-ト塊が主体。 GL-1.35~3.15m 玉石混り砂礫が主体。 粘土分を混入する。 玉石直径15~30cm程度のもので含む。黒色の安山岩が多い。									
2						褐青灰				S-1	1.50 ~ 2.15	21	5/11 7/11	9/8		
3						暗青灰				S-2	2.15 ~ 3.15	34	11 12/11	11/9		
4	559.42	4.60	4.60		土 埋		GL-3.15~3.70m 腐植物を混入。 GL-3.70~4.60m 玉石が主体、茶、黒色の安山岩が多い。			S-3	3.15 ~ 4.60	50/10	50			
5	559.32	4.70	0.10		礫混り粗砂	暗褐灰	粒度分布のよい、礫径最大20mm。 GL-4.70~6.20m 玉石の直径は最大20cm程度、黒色の安山岩が主体。 GL-6.20~6.60m 粒度分布のよい、礫混り粗砂が主体、色彩は赤、白、黒と変化に富む。礫径最大30mm程度。 GL-6.60~7.00m 玉石 最大直径7cm程度。 GL-7.00~8.20m 礫混り粗砂が主体、最大20%。 GL-8.20~8.60m 玉石の最大直径5cm程度、安山岩の骨が花崗基岩、石英斑岩を砕。 GL-9.50~10.00m 礫混り粗砂が主体。			S-4	4.60 ~ 5.65	50/5	50/5	50/2 (試験落下)		
6						青 灰				S-5	5.65 ~ 6.45	50/2	20/11	30/7		
7						青 灰				S-6	6.45 ~ 7.30	50/18	19/11	22/12	9/7	
8						青 灰				S-7	7.30 ~ 8.15	50	50/6			
9						青 灰				S-8	8.15 ~ 9.15	50/6	50/9			
10	553.82	10.20	5.50		玉石混り粗砂	褐 灰				S-9	9.15 ~ 10.15	50/9	50/5			
11										S-10	10.15 ~ 10.20	50/5	50/5			
12																

備考

KT2A

# 土 質 柱 状 図

調査名 地質調査業務委託(日光土木事務所庁舎建設)      調査期間 昭和 57年 5月31日 ~ 6月 4日  
 標 高 564.52m      水 位 GL-8.30m  
 試錐No. 3      調査員

標 尺	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	土 質 名	色 調	観 察 事 項	相 对 密 度	相 对 稠 度	資 料 番 号	試 験 深 度	標 準 貫 入 試 験				土 質 試 験 試 料
												N 值 / cm	10 cm 毎打撃回数	N 値		
1						暗 灰	GL-0.0~1.60m 砂礫が主体、粘土分を混入。 所により木片等を混入。			S-1	1.15 ~1.47	9	13/11	15/11		
2						暗 青 灰	GL-1.60~3.50m 砂礫が主体、粒度分布のよい砂を混入。			S-2	2.15 ~2.20	20/5	20/5 (JIN-V-2)			
3						暗 青 灰	GL-3.50~4.70m 最大直径10cm程度の玉石が主体 安山岩が多いが、花崗斑岩も混入、 風化しているものが多い。			S-3	3.15 ~3.45	4.0	12/11	13/9	15	
4	559.82	4.70	4.70		埋 土		GL-4.70m付近、砂分を混入。									
5	558.92	5.60	0.90		礫 混 入 粗 砂	暗 褐	粒度分布がよい、礫径最大30mm			S-4	5.15 ~5.34	33/12	37/12	18/17		
6							GL-6.30~6.40m 砂礫が主体、礫径最大30mm									
7							GL-7.00~7.30m 粒度分布のよい礫混入粗砂 礫径最大40mm			S-5	7.15 ~7.33	29/11	29/11	21/7		
8							GL-8.20~9.70m 砂礫が主体、 所々玉石を混入、 直径最大10cm程度。			S-6	8.45 ~8.55	50/10	50			
9										S-7	9.15 ~9.27	50/12	50/12			
10	554.35	10.17	4.57		玉 石 混 入 粗 砂	灰				S-8	10.15 ~10.17	50/2	50/2 (JIN-V-2)			

備考

# 土 質 柱 状 図

調査名 地質調査業務委託(日光土木事務所庁舎建設)

標高 563.35m

調査期間 昭和 57年 5月26日 ~ 5月29日

試錐No. 4

水位 GL-7.80m

調査員

標尺	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	土質名	色調	観察事項	相對密度	資料番号	試験深度	標準貫入試験				土質試験試料 採取深度m									
											N 値/cm	10 cm 毎打撃回数	N 値											
											10 cm	20 cm	30 cm	40 cm	50 cm	回	試料 No.							
											1.65	50/14	40	10/4										
											~1.75													
											2.65													
											~2.95													
											3.50	50/5	16	11	13									
											~3.55													
											4.60	50/4												
											~4.64													
											5.50	50/7												
											~5.57													
											8.00	50/2	50/2	(1) (1) (1) (1) (1)										
											~8.02													
											9.30	50/10	50											
											~9.40													
											10.00	50/2	50/2											
											~10.02													

備考

KT2A

# 土 質 柱 状 図

調査名 地質調査業務委託(日光土木事務所庁舎建設)

標高 561.65 m

調査期間 昭和 57年 6月 5日

～6月 9日

試錐No. 5

水位 GL-6.95 m

調査員

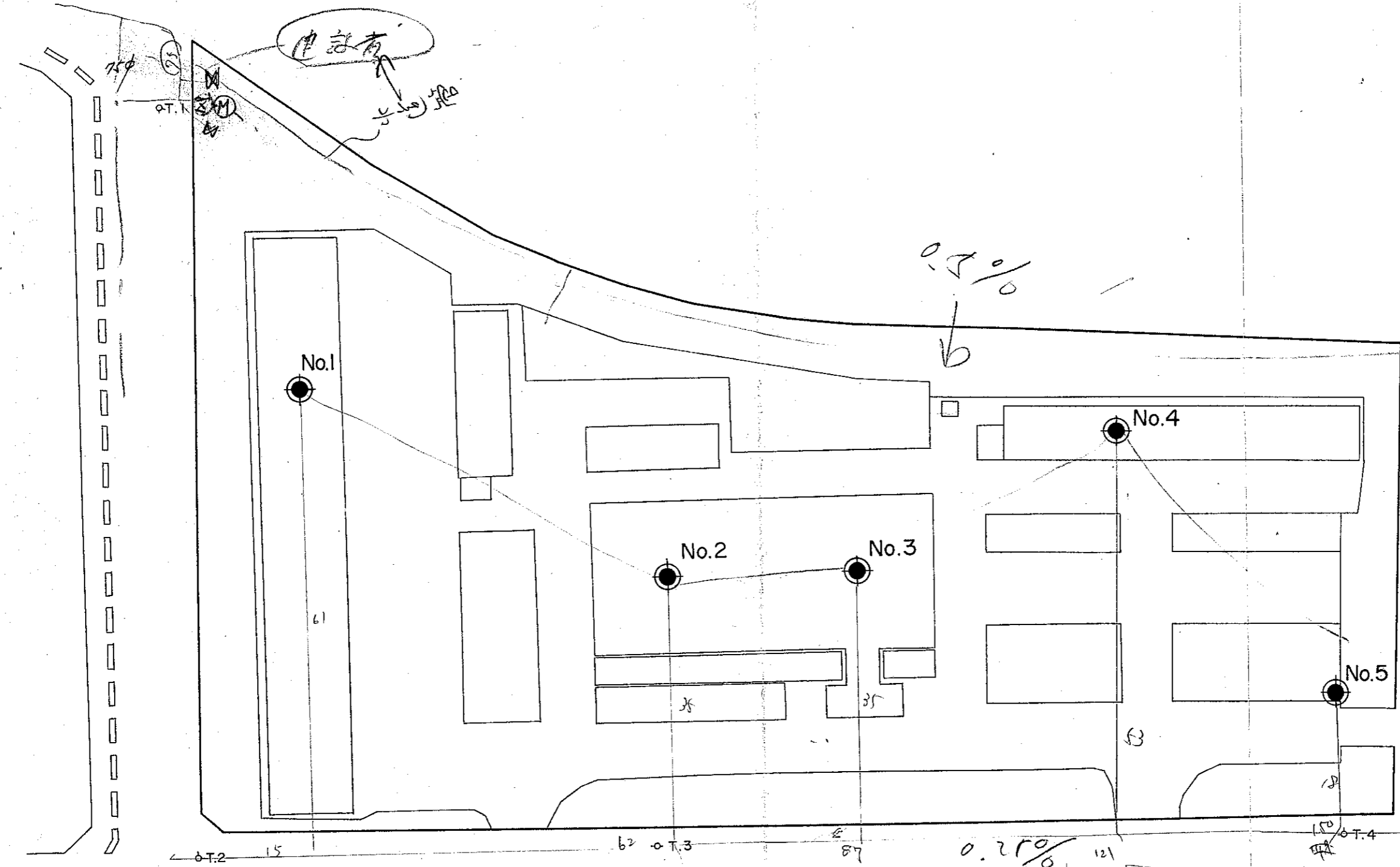
標尺	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	土質名	色調	観察事項	相対密度	相対稠度	資料番号	標準貫入試験				土質試験試料	
											試験深度	N 値/cm	10 cm 毎打撃回数	N 値	試料 No.	採取深度 m
1						暗褐	GL-0.0~0.70 m 砂礫混り粘土、木片等を混入。 GL-0.70~5.10 m 砂礫混り玉石が主体。 GL-2.50~2.60 m 細砂、礫を混入する。 GL-3.80~4.20 m 地層に穴があいている。			S-1	1.15 ~1.24	50/9	50/9			
5	556.55	5.10	5.10		埋土	灰	砂分が混入する 粒度分布がよい。 maxφ50mm			S-2	4.50 ~4.52	50/2	50/2 (HANT)			
6	555.65	6.00	0.90		砂	灰				S-3	6.15 ~6.40	50/25	14 18 18/5			
8	553.55	8.10	2.10		粗砂	茶褐	直径2~4cm程度の礫を混入。			S-4	7.15 ~7.45	50	13 17 20			
10	551.62	10.03	1.93		玉石	灰	玉石直径5~20cm程度のものが多い。 GL-9.05~9.45m 最大直径40cm GL-9.45~10.00m 直径10~20cmの玉石、砂を少量混入。			S-5	8.00 ~8.12	50/12	40 10/2			
12										S-6	10.00 ~10.03	50/3	50/3			

備考

KT2A

水道調査  
排水調査

# 調査位置平面図 S=1:600



市道768号線

大谷川

